

ボルグワーナー、北米の大手OEMとの 排気ガス再循環（EGR）に関する4件の契約を延長

- *ボルグワーナーは、OEM（自動車メーカー）向けに内燃機関およびハイブリッドの乗用車および小型商用車用プラットフォームに対応した排気ガス再循環（EGR）装置の部品を供給*
- *EGRシステムは、窒素酸化物（NOx）の排出を削減し、燃費を向上させることで、環境基準の達成に寄与*
- *EGRの生産は2029年まで継続する予定*

革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供するグローバル製品リーダーのボルグワーナー（NYSE：BWA/本社：アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者：ジョセフ・ファドール/Joseph Fadool）は、北米の大手OEM（自動車メーカー）との4件のEGRシステムの量産契約を延長することで、同社とのビジネスを拡大します。これらのEGRシステムは、同自動車メーカーが製造する内燃機関およびハイブリッドエンジンを搭載した複数の乗用車および小型商用車のプラットフォームに使用されます。EGRバルブ、クーラー、モジュールなどのEGR関連部品の生産は、2029年末まで継続される予定です。

ボルグワーナーのEGRシステムは、熱疲労に対する優れた耐久性を実現するように最適化されています。EGRは、排気ガスの一部を吸気側に再循環させることで燃焼温度を低下させ、NOx排出量の削減と燃費の向上に寄与します。ボルグワーナーが提供する多様なEGRモジュール、バルブ及びクーラーは、相互に連携して機能するように設計されており、完全に統合されたEGRシステムの構築が可能です。

ボルグワーナーのハイブリッドチューブおよびコルゲートチューブ技術は、各用途に応じて精密に設計されています。これらの革新的なソリューションにより、最も厳しい条件下でもクーラ

ーが最適な熱効率と最小限の圧力損失を実現します。提供されるシステムには、小型化やコスト削減を実現するモノブロック構造や、高い熱耐久性が求められる用途に対応するフローティングコア技術が含まれています。クーラーは高度なモデリングツールを用いて設計されており、最適化された高性能設計を実現しています。また、バルブは高い応答性と精密なガス流量制御を実現し、優れたシール性と耐腐食性を備えており、過酷な環境下でも信頼性の高い動作が可能となるよう最適化されています。

ボルグワーナーの副社長兼ターボ・サーマルテクノロジーズの事業本部長であるフォルカー・ウェング博士は、「今回の契約延長は、内燃機関およびハイブリッドエンジン向けに高品質で信頼性の高いEGRシステムを、長年の取引先に提供し続けてきた当社の取り組みと成果を示すものです。当社は、確立された技術、グローバルな生産体制、そして顧客との強固な関係を活かし、排出ガスの削減を通じて環境基準の達成に寄与するソリューションを引き続き提供してまいります」と述べています。



EGRシステムは、同自動車メーカーが製造する内燃機関およびハイブリッドエンジンを搭載した複数の乗用車および小型商用車のプラットフォームに使用されます。

ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界のeモビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースには、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)で想定された、将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」、およびこれらの語句の変化形や類似のものは、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、本リリースに含まれる、または参照する形で盛り込まれる、歴史的事実に関する記述を除く、当社の財務状況、事業戦略、および当該戦略を実施するための方策(事業の変更、競争力、目標、事業およびオペレーションの拡大・成長、計画、将来の成功への言及、その他の事項を含む)に関する、当社が将来発生すると期待または見込むすべての記述は、将来予測に関する記述です。最近提出されたフォーム 10-K(「Form 10-K」) 年次報告書の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」に記載されているような会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、当社の経験、当社の歴史的動向に関する解釈、現在の状況、予想される将来の展開に関する認識、および現況において適切と考えられるその他の要因に照らして当社が行った仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定または示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。

本リリースの発行日現在における事柄を述べたものであるこれらの将来予測に関する記述を過度に信頼すべきではありません。将来予測に関する記述はリスクや不確実性を伴うものであり、その多くは予見困難であり、一般的に不可抗力によるものであるため、実際の結果は将来予測に関する記述で表明、予測、または示唆されているものとは大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性の代表的な例として、次のものがあげられます。当社または当社の顧客に影響を及ぼす供給の混乱、商品の入手可能性および価格設定、ならびにこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと；受託製造会社(OEM)の顧客を含む既存および新規の競合他社による競争上の課題；急速に変化する技術、特に電気自動車に関連する技術的課題、およびそれに対応する当社の技術革新能力；電気自動車に対する需要および電気自動車の売上成長を予測することの難しさ；戦争やその他の地政学的紛争によって引き起こされる世界経済の潜在的な混乱；適切な条件で買収対象を特定し、買収を完了する能力；買収によって期待される利益を適時に実現できない可能性；2023年に旧燃料系システム部門とアフターマーケット部門を非課税分社化して別個の株式公開企業としたことによる意図した利益が得られない可能性；取得事業を迅速かつ効率的に一体化できない可能性；取得事業に関する未確認または推測不能な債務の可能性；自動車およびトラック生産への依存性(いずれも景気に大きく左右され、混乱の影響を受けやすい)；大手OEM顧客への依存性；一部のOEM顧客における将来的なストライキの影響および当該OEM顧客の対処法；金利および外国為替レートの変動；情報システムへの依存性；世界的な経済環境の不確実性；様々な申し立てに関する訴訟を含む既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府による調査の行方；当社が事業を行っている国における税金や関税を含む法律や規制の将来的な変更；将来起こりうる買収または譲渡による影響；当社が証券取引委員会に提出する報告書(直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因」)に記載されたその他リスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる事象、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新・改訂内容を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中込、浜辺

TEL: 090-7739-3601(中込)、080-2032-2924(浜辺)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp